



~いつまでもお元気で~



## 9/17(月) 家族みんなで長寿を祝う

敬老の日に、市長がカジマヤー（数え年97歳）と100歳を迎えるおじいおばあ9人のお宅を慶祝訪問しました。今年度、市内では慶祝訪問した人を含め、84人がカジマヤー、14人が100歳を迎えました。

それぞれの自宅では、おじいおばあの長寿を祝おうと家族が勢ぞろい。中には孫、ひ孫含めて50人を超える大家族も。皆さんとても元気で、今も歩いて畠仕事に行っているおじいや、食べるのが大好きで週に数回外食を楽しんでいるおばあもいました。市長からの「元気の秘訣は？」との問い合わせには「自分でできることは自分で何でもやる」「好き嫌いなく食べること」など笑顔で答えてくれました。



## 10/6(土)～8(月) バレーボールで深まる絆

10月6日から8日まで、浦添市バレーボール協会と愛知県蒲郡市バレーボール協会との間で小学生の交流事業を実施し、浦添市から25人の選手・指導者が蒲郡を訪問しました。これまで大人のチームでの交流は盛んにおこなわれてきた両協会でしたが、小学生の交流は今回が初めてです。浦添と蒲郡の混成チームを結成し行った対戦を含め、たくさんの試合を通じ多くの友情が生まれ、友好都市の絆を深めました。滞在期間中には蒲郡の歴史・風土にも触れる貴重な経験ができた3日間になりました。



## 9/9(日) 浦添運動公園「ANA SPORTS PARK 濱添」で始動

ANA SPORTS PARK 濱添（浦添運動公園）正面ゲートでネーミングライツ記念セレモニーが実施されました。オープニングアトラクションでは大平保育所の園児らによる元気いっぱいなダンスが披露され、にぎやかな幕開けとなりました。ANA（全日本空輸株式会社）近藤繩締社長は、「新しくなったANA SPORTS PARK 濱添を通じて、スポーツ振興や観光産業の発展、また未来を担う子どもたちにとってより良い環境の提供をしていきたい。幅広い年齢層の人が楽しめる施設として利用してほしい」と述べました。

最後は、関係者及び園児によるテープカットと除幕式が行われ、拍手とともに公園の新たなスタートを祝いました。



## 9/19(水) 日々の努力で勝ち取ったナンバー1

日々コツコツと努力を重ね、輝かしい成果を残した山城希星さん（神森小5年）と新垣彩菜さん（当山小6年）にてだこ市民賞42号と43号が授与されました。

山城希星さんは7月22日に香港で開催された「世界城市杯三算全能競技会」小学5年生の部で最高得点をマークして見事優勝を果たしそろばん世界一となりました。

新垣彩菜さんは8月18日に大阪で開催された「一般財団法人日本ボクシング連盟主催 第5回アンダージュニアボクシング王座決定戦」小学生女子の部（34kg級）で県勢女子初の優勝を果たし、見事日本一となりました。



## 10/1(月) 「就労支援コーナーてだこ」開設

生活保護受給者や生活困窮者、児童扶養手当受給者などを対象にした「就労支援コーナーてだこ」が浦添市役所保護課内に開設されました。

浦添市福祉事務所内にハローワークを併設することで、就労を希望する福祉事務所利用者それぞれが必要とする相談や支援をワンストップで受けすることができます。

那覇公共職業安定所の比嘉所長は「浦添市の福祉部門と国の雇用部門が連携し、きめ細かい個別支援を提供することによって一人でも多くの方を就職につなげられるよう就労支援を強化していきたい」と意欲を示しました。



## 9/15(土)・10/13(土) 仕事とこれからの自分探し

浦添市とハローワーク那覇は、働く意味を考えるイベントとして市内介護事業所の協力のもと、「ジョブフェスタ」を実施しました。

第一部では171人が参加し、介護の仕事に就いて間もない職員や中堅職員のトークセッションと、介護をテーマにした映画「ケアニン」を視聴しました。第二部の事業所見学ツアーでは、市内の介護事業所を見学して説明を受け、介護の仕事に対する理解を深めました。

参加者からは、「無資格でも介護の仕事に就けることが分かった」「介護がとても近くに感じられた」などの声が寄せられました。

